

農地法第 3 条の 3 の規定による届出書

記載例

下記農地（採草放牧地）について、**相続** により **所有権** を取得したので、農地法第 3 条の 3 の規定により届け出します。

令和 年 月 日
(宛先) 農業委員会会長

住所 **野田市鶴奉7番地の 1**
氏名 **野田 太郎**

記

1 権利を取得した者の氏名等（国籍等は、所有権を取得した場合のみ記載してください。）

氏 名	住 所	国籍等	在留資格又は 特別永住者
野田 太郎	野田市鶴奉7番地の 1	日本	

2 届出に係る土地の所在等

所在・地番	地目		面積 (㎡)	備考
	登記簿	現 況		
船形字昭和中〇〇番	田	田	1, 200	

3 権利を取得した日
令和 **5** 年 **5** 月 **10** 日

4 権利を取得した事由
野田 亓朗（父）から相続

5 取得した権利の種類及び内容
権利の種類：所有権
耕作の状況：耕作、使用収益権の設定無し

6 農業委員会によるあっせん等の希望の有無
無

(記載要領)

- 本文には権利を取得した事由及び権利の種類を記載する。
- 法人である場合は、住所は主たる事務所の所在地を、氏名は法人の名称及び代表者の氏名をそれぞれ記載する。
- 国籍等は、住民基本台帳法（昭和 42 年法律第 81 号）第 30 条の 45 に規定する国籍等（日本国籍の場合は「日本」）を記載するとともに、中長期在留者にあつては在留資格、特別永住者にあつてはその旨を併せて記載する。法人にあつては、その設立に当たって準拠した法令を制定した国（内国法人の場合は、「日本」）を記載する。また、権利を取得した者が日本国籍以外の場合は国籍の確認できるもの（住民票・在留カード・在留資格認定証明書等）の提示と各証明書等の写しを添付する。
- 記の 2 の「届出に係る土地の所在等」の備考欄には、登記簿上の所有名義人と現在の所有者が異なるときに登記簿上の所有者を記載する。
- 記の 4 の「権利を取得した事由」には、相続（遺産分割及び包括遺贈を含む）、法人の合併・分割、時効等の権利を取得した事由の別を記載する。
- 記の 5 の「取得した権利の種類及び内容」には、取得した権利が所有権の場合は、現在の耕作の状況、使用収益権の設定（見込み）の有無等を記載し、取得した権利が所有権以外の場合は、現在の耕作の状況、賃借料、契約期間等を記載する。
- 記の 6 の「農業委員会によるあっせん等の希望の有無」には、権利を取得した農地又は採草放牧地について、第三者への所有権の移転又は賃借権の設定等の農業委員会によるあっせん等を希望するかどうかを記載する。